

# れんけいと支援

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

Face to Face,

Heart to Heart

富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112(代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> / 発行日 2022年12月

## 陥入爪と巻き爪について

形成外科

宮下 松樹



陥入爪とは主に足の爪の角や側面が皮膚に食い込んで痛くなる病気です。(図1)

そのままでも痛くて歩くのがつらくなりますが、細菌感染を起こすと更に痛みが強くなります。

主な原因として深爪がありますが、爪を短くするだけではなく、特に爪の角を斜めに切り込むことが問題です。

深爪をすると、爪まわりの皮膚が爪にのっかって成長を邪魔する上に、さらに爪は皮膚に食い込むように伸びていきます。

その他の原因としては、ヒールの高い靴、先のとがった靴による圧迫、ぶかぶかな靴による擦れ、怪我など爪のはがれ、体質(肥満など)、爪白癬(爪の水虫)が原因となることもあります。

機序として爪の根っこの部分である爪の元(爪母)が悪さをしている場合、爪自体が悪さしている場合、爪の床が悪さしている場合があり、それらが複数影響してなります。

麻酔の要らない保存的な治療法ではワイヤーによる矯正治療やテープによる側爪郭けん引療法があります。



図1

外科的な治療法としては爪母の両端を切除または破壊して、爪幅を狭くするフェノール法、爪床を修正する爪母爪床切除術があります。

予防法は、つま先に余裕のある靴を心掛けること。爪切りの切り方に注意をすることです。

☆理想的な爪の切り方(スクエアカット)(図2)

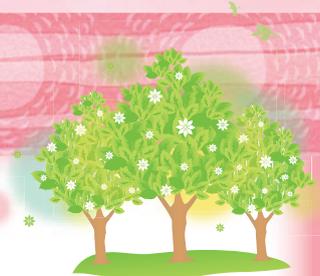
爪の先端の長さは白い部分が1ミリ程度残るくらいに四角く切ります。

四角い形にきると力が分散されるので、圧力がからなくなり陥入爪も解消されるということです。

陥入爪や巻き爪、爪甲肥厚などで爪が切れないなど、爪の処置が必要な患者さんは、当科へ紹介ください。



図2



### 1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

※会場またはWEBでの参加が可能です

※令和5年1月は、地域連携症例検討会の開催がありません。

次の開催は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

予告

日時：2月14日（火） 19:00～20:00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 1例 （担当） 脳神経外科  
②ミニレクチャー 1題 （担当） 麻酔科・ペインクリニック

地域連携症例検討会に関しては、今後もWEBを利用したハイブリッド方式で開催していくことを計画しています。つきましては、ZOOM会議のご案内に関して参加される先生方の利便性に鑑みURLならびにQRコード等をお送りするため、下記のメールアドレスへ①貴施設名 ②氏名を明記の上、メール送信いただきますよう、よろしくお願いいたします。一度登録していただければ今後継続してご案内をメールでお送りいたします。

[ttn2168@tch.toyama.toyama.jp](mailto:ttn2168@tch.toyama.toyama.jp)

（ふれあい地域医療センター 地域医療連携室）

### 2. 腎臓病教室

日時：令和5年2月16日（木） 13:30～15:45

場所：未定

腎臓病教室に関するお問い合わせは、内科外来までご連絡ください。

### 3. 定例の研修会、看護研修

※COVID-19の状況を見ながら再開の予定です。



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

## 令和4年度 地域医療部担当者交流会・事例検討会が開催されました！

11月11日（金）地域医療部担当者交流会・事例検討会が開催されました。地域の訪問看護ステーションから訪問看護師が6名、訪問診療から医師1名、院内から看護師13名の参加がありました。

「終末期がん患者の在宅看取りへつなぐ意思決定支援～外来在宅共同指導料の算定～」をテーマに、ファシリテーターとして、くれよん在宅クリニックの明和看護師をお招きしました。そして、外来から訪問診療へつないだ事例を通し、病院から訪問診療へ繋ぐポイントやタイミングについて活発な意見交換を行いました。

また、「がん患者への意思決定支援」について、当院の中井がん看護専門看護師がミニレクチャーを行い、自分の価値観を知ることの大切さについて学びました。

この交流会を通して、それぞれの立場からの熱意を情報共有することができ、課題が明確になりました。今後も地域と連携し、シームレスな在宅療養支援が行えるよう努めていきたいと思っております。





## 研修医のひとりごと

臨床研修医  
上山 健斗



初期研修医2年目の上山と申します。

富山市民病院での初期研修が始まってから1年半以上が過ぎました。思い返すと、最初のころは分からないことばかりでした。もちろん、今でも上級医の先生方と比べれば圧倒的に知識が不足しておりますが、それでも臨床の考え方や知識、手技など自分なりに大きく成長できたと思っております。各科の臨床の奥深さに触れることもできました。

それも、各科1か月という短い期間ながら親身に、熱心に指導して下さった先生方、優しく丁寧に接して下さったスタッフの方々、そしてなにより協力して

いただいた患者様のおかげです。不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけした場面も多々あるかと思えます。大変感謝しております。

さて、初期研修は残すところ3か月となり、来年度からは主治医として患者様と接してゆくこととなります。富山市民病院で培った経験をもとに、さらに研鑽を積んで地域や医療に貢献し、お世話になった皆様への恩返しができるかと思っております。

富山市民病院の皆様、本当にありがとうございます。

## 医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

1月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
外科	竹下	20日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	児島	19日、20日
整形外科・関節再建外科	重本	23日、27日	歯科口腔外科	朽名	4日、5日、6日
呼吸器・血管外科	酒井	10日	※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168		

## 編集後記

4月に異動してあっという間に年末を迎えることになり驚いています。業務にも少しずつ慣れ、今は退院支援専従看護師として後方連携に取り組んでおります。

私事ですが、コロナ禍で中々実行できなかったことをやっと済ませました。きっかけは台所の水栓が水漏れし交換（清掃と整理整頓にもなり）、同じ頃に排水が悪くなり高圧洗浄、3部屋分の障子戸貼り換え（勿論業者依頼、窓拭きとサッシ清掃が念入りに出来て超スッキリ）、リビングの古い照明器具をLEDに交換（夫と二男で、私は片付け）、ついでにふらっとテレビも買い替え、部屋が明るくなりカーテンも洗濯（これは私が）、勢いで色々できて自己満足しています。

師走になりましたが皆さんの予定はいかがですか。コロナやインフルエンザ、風邪などにかからないよう元気に過ごし、明るい気分で新年を迎えましょう。

ふれあい地域医療センター 関堂 好子



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154  
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp